

NEWS RELEASE

2021年10月8日
日本板硝子株式会社

カナダの事業所に NSG グループ初の蓄電システムを設置 — コリングウッド事業所の電力コストおよび CO₂ の大幅削減に寄与 —

日本板硝子株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼 CEO：森重樹、以下「NSG」）は、エネルギー消費量と CO₂ 排出量の削減の施策の一環として、この度 Convergent Energy + Power 社（本社：米国、CEO: Johannes Rittershausen、以下、「Convergent」）と提携して、当社グループ初の蓄電システムをカナダオントリオ州のコリングウッド事業所に設置しましたので、お知らせいたします。

これは、蓄電システム開発企業とガラス製造工場が相互に恩恵を受ける、当社グループにとっての初の試みです。

出力 5MW、容量 10MWh のこの蓄電システムは本年上半期からフル稼働しており、Convergent の独自ソフトウェアである PEAK IQ® を使用して、最もコストが高くなるとともに CO₂ 排出量の大きい、送電網電力の消費ピーク時間帯に、工場の電力消費を低減することができます。

このシステムは、新型コロナウイルス感染症が拡大中であった 2020 年後半～2021 年前半の冬期に設置が行われたため、とりわけ厳しい安全基準を徹底的に遵守しながら工事が進められました。最大 450,000 カナダドル/MW の削減目標を達成することを目指して、Convergent は、サプライチェーンの大幅な混乱を様々な工夫で乗り切り、また地元企業と協力することで新型コロナウイルス感染症による人々の移動制限の中でも遅滞なく工事を進めました。

これは、コリングウッドの地域社会とオントリオ州によるより効率的で持続可能な電力グリッド整備の取り組みを支援するという NSG グループのコミットメントの一環でもあります。NSG グループは、新型コロナ感染症拡大の中、蓄電システムを迅速かつ安全に立ち上げた、設計から建設にわたる Convergent の専門性を高く評価しています。

NSG グループは、中期ビジョン「高付加価値の『ガラス製品とサービス』で社会に貢献するグローバル・ガラスメーカーとなる」を掲げ、3 年間の中期経営計画「リバイバル計画 24」において、年率 2% の CO₂ 排出量削減に取り組んでいます。これにより、2030 年の CO₂ 排出量（スコープ 1 および 2）を 2018 年対比で 21% の削減を達成し、また将来のカーボンニュートラルの達成に向けた、より具体的な道筋を早期に示していきたいと考えています。（*）



蓄電システムは、ピーク時間が予測されると、送電網からコリングウッド工場に供給される電力を削減します

参考動画：[設置過程の映像 \(YouTubeリンク\)](#)

以上

NSG グループ（日本板硝子株式会社およびそのグループ会社）について

NSG グループは、建築および自動車用ガラスとクリエイティブ・テクノロジー分野で事業を展開する世界最大のガラスメーカーのひとつです。

建築用ガラス事業は、各種建築用ガラス、太陽電池パネル用ガラス等を製造・販売しています。

自動車用ガラス事業は、新車用(OE)ガラスや補修用(AGR)ガラスの分野で事業を展開しています。

クリエイティブ・テクノロジー事業の主要製品は、プリンターやスキャナーに用いられるレンズや、タイミングベルトの補強材であるグラスコードやガラスフレークを中心とする特殊ガラス繊維です。<https://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ先>

(報道関係等) 広報部

Tel : 03-5443-0100

* 中期経営計画「リバイバル計画 24 (RP24)」説明資料

https://www.nsg.co.jp/-/media/nsg-jp/ir/ir-presentations/mtprp24presentation2021_j01.pdf